

6. 人材育成とアウトリーチ活動

人材育成の取組

プログラム主催で成果発表会、研究交流会等を開催し、若手研究者の人材育成に積極的に取り組んだ他、各機関でも個別に様々な取組を行った。

研究交流

・プログラム内全ての研究者が参加する**成果発表会**を毎年開催し、全課題の成果発表を行うとともに、研究者同士が交流を深め、情報交換を行った。

・研究者間の交流を通して人材を育成する目的で、**領域別の研究交流会**や**分野別班会議**を若手研究者らを対象として開催した。特に**班会議**は実際に実験に携わる若手研究者のために、ボトルネック解消に向けた合宿形式による意見交換の場とした。(平成19年度～22年度、計12回)



分野別班会議の様子

講習会

・プログラム主催で**情報プラットフォーム技術講習会**、**脂質メソフェース講習会**等を開催し、若手研究者の教育を行った。

研究機関での様々な取組

- ・プログラム内の他機関での**滞在型技術トレーニング**に若手を派遣
- ・プログラム外の**説明会**、**講習会**、**人材育成プログラム**への若手の派遣
- ・若手研究者を対象とした**研究グループ内のセミナー**、**ディスカッション**
- ・**国内外の学会**への参加と**研究発表**、**論文投稿**の指導等

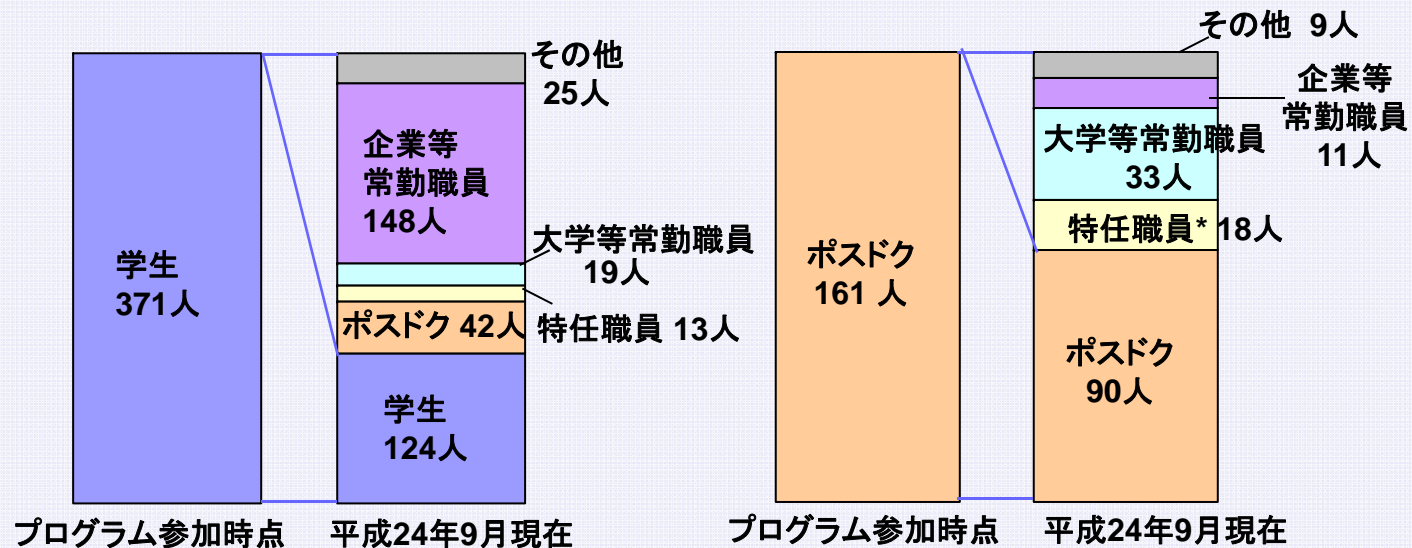


キャリアパスの追跡調査

キャリアパス追跡調査 ープログラム参加者 全員の推移

プログラム参加時の 身分(人)	プログラム終了時の身分						
	学生	ポスドク	* 特任職員	常勤職員 (大学等)	常勤職員 (企業等)	その他	
学生	371	124	42	13	19	148	25
ポスドク	161	0	90	18	33	11	9
特任職員	69	1	2	34	18	5	9
常勤職員_大学等	475	1	1	16	416	13	28
常勤職員_企業等	15	0	0	1	0	12	2

キャリアパス追跡調査ー 学生、ポスドクの就職状況



*特任職員:特任助教、特任准教授、特任教授

参考：本プログラムの経験を生かしたキャリアパスの例

氏名	参加時の職位	現在の職位
研究者A (若槻課題・中川グループ分担者)	国立大学 博士研究員	公立大学 特任准教授

- 本プログラムには、「I-② 解析領域」の中川グループで博士研究員として参画。その経験を生かして光化学系II (PSII)の1.9A分解能での精密構造決定において中心的役割を担った。
- 成果は、人工光合成による低炭素化社会実現に向けたグリーンイノベーション創出につながる成果として高く評価され、**2011年度日本結晶学会進歩賞を受賞**。
- さらに**米国Science誌の「2011年科学の10大発見」**に選ばれている。
- 現在は、**公立大学にて特任准教授**に就任している。

氏名	参加時の職位	現在の職位
研究者B (研究代表者)	独法研究所 研究員	国立大学 教授

- 本プログラムには、「II-③ 食品・環境等の産業応用分野」に研究員として参画。膜タンパク質、味覚受容体のX線結晶構造解析を課題に取りあげ3年間研究を実施。
- その後、**最先端次世代研究開発支援プログラム**に採択され、研究を継続している。
- 困難な膜タンパク質研究が高く評価され、現在は**国立大学の教授**に就任し、構造研究に基づいた創薬研究のリーダーとして期待を集める。

氏名	参加時の職位	現在の職位
研究者C (横山課題・田之倉グループ)	国立大学 特任助教	国立大学 准教授
研究者D (田之倉優研究グループ)	国立大学 特任助教	国立大学 助教

- 両名は、アブシジン酸受容体と標的タンパク質ABI1複合体の構造解析によるアブシジン酸作動機構の解明において中心的役割を担った。
- その成果は、乾燥に対して強く、極端な気候変動に対しても順応できる作物開発につながる成果として高く評価され、**米国Science誌の「2009年科学の10大発見」**に選ばれた。
- 現在は、**国立大学の准教授**及び**国立大学の助教**に就任している。

- 本プログラムに、研究者Cは「I-① 生産領域」の田之倉グループで特任助教として参画。研究者Dは「II-③ 食品・環境等の産業応用分野」の田之倉グループに特任助教として参画。

アウトリーチ活動

様々な公開イベントを通じてプログラムの活動を社会へ発信

一般向けの公開イベント

行事名	日時	参加人数
第1回公開シンポジウム (ターゲットタンパク研究から見える未来-1)	平成20年2月12日	386名
第2回公開シンポジウム (ターゲットタンパク研究から見える未来-2)	平成21年1月15日	491名
第3回公開シンポジウム (ターゲットタンパク研究から見える未来-3)	平成22年3月5日	427名
第4回公開シンポジウム (ターゲットタンパク研究から見える未来-4)	平成23年3月11日	526名
第5回公開シンポジウム (ターゲットタンパク研究から見える未来-5)	平成24年3月12日	448名



一般からも多くの参加者



高校生のタンパク質研究実習

行事名	日時	参加者延べ人数
平成22年度 第1回～第5回 産学懇談会	平成22年7月～23年1月	137名
平成23年度 第1回～第4回 産学懇談会	平成23年6月～12月	136名

その他

高校生向けのアウトリーチ活動:
「ニュートンプロジェクト～タンパクを知っていますか～」
高校生を対象に講義と実習を行った

WEBによる事業の紹介: ホームページを通じて事業内容、研究成果、
イベント、ニュース等をわかりやすく掲載
YouTubeの動画サイトを活用

一般向けのパンフレットによる事業の紹介: 事業内容、研究成果を
わかりやすく説明した物を高校生向けのイベント等で配付

各機関による一般向け講演会、機関の一般公開への参加の他、
研究者向けの情報発信としてニュースレターの配付、学会発表等多数



一般向けパンフレット



公開サイト

アウトリーチ活動（公開サイト利用動向）

公開サイトアクセス件数

○プログラム期間内：**9,374,825回（月平均26万回）**

※アクセスログ解析を開始した2009年4月からプログラム終了2012年3月までの累計

○プログラム終了後：**2,582,663回（月平均32万回）**

※2012年4月から11月まで

※プログラム終了後も、継続的に利用されている。

公開サイトアクセス件数月別推移

